

し、此書實に明證なれば、予篤く乞て珍藏せしが、後熟察するにかゝるものをひめ置んは所謂和氏璧を櫃に藏するに似て益なし、しかじ是を世に公にすべしとて、王子金輪寺は、好古者のつとへる處なれば、かの寺僧に謀りて、社寶の一品に寄納し、且因に新武州變革の大略及此文書年代等の愚考をも附記したれば、志あらん人は、その眞蹟を一覽して、予が妄言ならざる事を知り給へかし。

丙申木王月

凸凹齋識

〔上野國志那波郡〕武州兒玉郡、都島山王堂宿仁手沼和田等、寛永ノ始、那波郡ニ屬ス、寛永中洪水ニテ、烏川北ニ徙リテヨリ武州ニ隸ク、

〔日本實測錄島嶼〕武藏國豊島郡實測 佃島 周廻六町二十六間半 寄場島 周廻一十一町七間半

久良岐郡 遠測 夏島

〔易林本節用集下〕武藏州大管二十一郡、四方五日半、野宏而无山、仍欠良材、田畠豊而野菜類多、大上國也。

〔名所方角抄中〕鎌倉より奥州へ下るに、先むさしへ出るなり、武藏野の初る所は、鎌倉より五六里也、鎌倉より北にあたるなり、國中に山なし、秩父山の嶽は、西のはしなり云々、むさし根といふも、此秩父山なり、此山よりみこしに富士は見えたり、又荒川といふは、秩父山より流れ出るにより、東へ流れ出る大河也。

〔日本國事跡考〕武藏國平原廣野、不見山、千村万落、雞犬相聞、朝日夕日、出沒草際、鶴鵠鳧雁、充滿其中、處々有沼、産鯉魚嘉魚、隅田川在武藏下總之界、水深有舟、有鳥曰都鳥。

〔武藏演路〕一曰武藏大管、田畑百十六万餘石、山なし、仍良材を欠けり、田畑豊にして野菜の類多

地味

島嶼